

# 令和6年度 大阪府堺市保健医療協議会

## 在宅医療・ターミナルケア部会 議事概要

日時:令和6年 11月6日(水)午後2時から午後3時 10分

開催場所:堺市役所 6階 会議室

出席委員:12名

(委員定数15名、定足数8名であるため有効に成立)

小田委員、辻本委員、井上委員、釜江委員、亀山委員、黒田委員、  
白井委員、永井委員、馬場委員、前原委員、松井委員、山本委員

### ■議題1 在宅医療において必要な連携の拠点等の取組状況について

(府域における補助事業の申請状況の報告)

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】在宅医療に必要な連携を担う拠点等の取組について(府域における補助事業の申請状況の報告)

【参考資料1】医療計画における在宅医療の指標及び各圏域の参考指標の状況

(質問)

○連携の拠点の事業として、なぜ災害対策があるのか。

(大阪府の回答)

○国から示されている連携の拠点に求められる事項に、災害時対応を含む連携上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施することが示されているため。

### ■議題2 堺市圏域における在宅医療において必要な連携の拠点の取組状況について(報告・意見交換)

資料に基づき、辻本委員から説明

【資料2】堺市圏域における在宅医療において必要な連携の拠点の取組状況について

(質問)

○積極的医療機関を今後増やしていくことは可能か。

(大阪府の回答)

○可能である。積極的医療機関の数が十分かどうかは地域の実情に応じて検討していただき、積極的医療機関を増やす場合は、在宅医療・ターミナルケア部会や保健医療協議会で協議していただく。

(質問)

○今後、積極的医療機関が増え、全ての医療機関が補助事業の交付申請を出しても、予算は足りるのか。

(大阪府の回答)

○予算については次年度も今年度と同様に要求する予定。万が一、令和7年度の予算が足りなければ、総数で按分することになる可能性もある。また、令和7年度の申請状況に合わせて、令和8年度の予算要求等も見直していきたい。

(質問)

○在宅診療を実施している医療機関に対し、積極的医療機関が援助、支援したことの実績について、大阪府から金銭的な援助は出ないのか。

○事前打ち合わせをし、ある程度情報をもらいながら連携していかなければいけないという負担に対しての補助はどうか。

○積極的医療機関の補助事業について、会議費や連携等、体制構築のために実際に動くほうにあまり補助金が出ずに、物(非常用電源等)に多く補助金が出るのはどうか。

(大阪府の回答)

○診療報酬が出ているものに対しては、補助対象外である。

○個別患者の情報のやりとり等については特に出ないが、体制構築のための会議や連携するための端末導入費に対しては、連携の拠点の補助事業等を活用していただくことも可能である。

○体制構築については、基本的には、連携の拠点の事業で検討いただくものと考えている。

(意見等)

○後方支援だけでなく、診療所同士の連携によって他診療所の援助をするような、在宅医療そのものを支援するようなところを積極的医療機関で増やしていかなければいけない。

○高齢者施設の課題として、堺市内の医療機関の医師が訪問診療できず、近隣の医師に頼ることになり、訪問看護師含め、緊急時の対応ができない現状がある。

○入居されている方やそのご家族と、リアルタイムで話ができず、施設の介護職員が救急に頼らざるを得ない状況である。

○名古屋市では、医師や訪問看護師、介護事業所を含めたネットワークを構築し、急変された患者等の応援を求めることができるように進めていると聞いている。

○介護施設と病院が提携し、介護施設の医師が対応不可能な場合、病院の医師がその施設の患者を診て、必要であれば病院へ搬送し、入院してもらおうシステムが新しくできている。

■議題3 地域医療介護総合確保基金事業(医療分)について(報告)

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から報告

【資料3】地域医療介護総合確保基金(医療分)について

【参考資料2】地域医療介護総合確保基金事業(医療分) 一覧

(質問)

○在宅医療に関するところは区分Ⅱの1.4億円と少ないのではないか。

(大阪府の回答)

○在宅医療に係る事業でも、地域医療構想に根本的に資する理由や目的があるものは区分Ⅰ-1に含まれており、全ての在宅医療に係る事業が区分Ⅱの1.4億円の中に入っているとは限らない。

■その他

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料4】「人生会議の日」に向けた大阪府の取組等について

【参考資料3】人生会議(ACP)に基づく傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生等の対応について

(意見等)

○「人生会議の日」に向けた SNS 動画広告配信について、数秒で誰でもすぐ見られるため非常に良いと思う。

○救急やACPのことを含む年間計画等を立て、堺市内の施設代表の看護部長や介護施設の訪問看護ステーションの方が集まり、それぞれのACPや在宅医療に関する取組について情報共有している。

○訪問診療してもらい、自宅で最期を迎えるのもいいことだと感じている。